

CSR REPORT 2024

連携深化で低・脱炭素社会に
コミットする



CONTENTS

I. 河内長野ガス概要	1
II. Top Message 社長メッセージ	4
III. 河内長野ガスグループのCSR活動に関する考え方	5
IV. Topics	8
V. 安心・安全への取り組み	11
VI. 快適な生活をご提案	18
VII. 子供たちの明るい未来のために	26
VIII. 働きやすい職場づくり	31
IX. コンプライアンスの取り組み	34

I 河内長野ガス概要



1 河内長野ガス株式会社 会社概要

商号 河内長野ガス株式会社
設立 1961年9月
資本金 3,000万円
売上高 28億8,100万円(2024年3月期)

役員 代表取締役社長 吉田 顕
常務取締役 山中 一恭
取締役 安川 浩
社外取締役(公認会計士) 田淵 正信
監査役(弁護士) 吹矢 洋一
執行役員 小嶋 正士

従業員数(契約社員、パートナー含む) 66名(2024年4月1日現在)

所在地 大阪府河内長野市昭栄町14-31
TEL. (0721) 53-3561(代)
URL. <https://www.naganogas.co.jp>

事業内容 1. 都市ガスの供給事業
2. ガス工事の請負
3. ガス機器の販売
4. リフォーム事業
5. 液化石油ガス*販売事業
6. 電気の販売事業

*液化石油ガス=プロパンガス

主要取引銀行 三菱UFJ銀行、三井住友銀行、りそな銀行

主要(都市ガス)供給先 河内長野市役所、大阪南医療センター、日本農薬株式会社、モリ工業株式会社

主要(LPガス)納入先 株式会社ガイドー、大阪安全衛生教育センター、大和開発観光株式会社、
社会福祉法人 生登福祉会

主要仕入先 大阪ガス株式会社、株式会社ノーリツ、リンナイ株式会社、TOTO株式会社、
クリナップ株式会社、タカスタンダード株式会社、パナソニック株式会社、
株式会社LIXIL、岩谷産業株式会社、シナネン株式会社、伊丹産業株式会社



河内長野ガス社屋



河内長野ガス
マスコットキャラクター
ふうむちゃん

所属団体名 一般社団法人 日本ガス協会 (近畿部会所属)
 近畿ガス事業協同組合
 一般社団法人 大阪府LPガス協会
 TOTOリモデルクラブ
 クリナップ 水まわり工房
 タカラスタンドアード パートナーショッ
 YKKAP MADDOショッ
 Good Living友の会
 一般社団法人 日本住宅リフォーム産業協会 JERCO
 大阪府住宅リフォームマイスター登録事業者

許認可等 建設業 大阪府知事許可(般-29)第142445号
 二級建築士事務所 大阪府知事登録(い)第9624号
 河内長野市排水設備工事指定業者 第376号
 河内長野市給水装置工事事業者 第0082号
 液化石油ガス(LP)販売許可 27B第1701号
 液化石油ガス保安機関認定番号 27A1001RA
 ゴールド保安認定事業者(第一号認定液化石油ガス販売事業者)
 健康経営優良法人2024(中小規模法人部門)
 大阪府住宅リフォームマイスター事業者登録

沿革(河内長野ガス株式会社)

1961年 9月	設立	
1962年 7月	事業開始、需要家件数172件	
1973年 2月	需要家件数 5,000件	
1979年 11月	長野配管株式会社を設立	
1985年 1月	リビングセンター(旧社屋)竣工	 <p>リビングセンター(旧社屋)</p>
4月	需要家件数10,000件	
11月	長野配管株式会社がリフォーム事業開始	
1988年 11月	長野配管株式会社が株式会社リビングセンター長野に商号変更	
1990年 4月	株式会社リビングセンター長野が液化石油ガス販売事業開始	
1991年 1月	ブタンエアーガス6Aから天然ガス13Aへ熱量変更作業開始	 <p>供給管理センター棟(現倉庫資材棟)</p>
3月	全戸 天然ガス13Aへ熱量変更完了	
9月	需要家件数 15,000件	
1994年 2月	リビングセンター(旧社屋)増築竣工	
1996年 9月	需要家件数 20,000件	
12月	供給管理センター棟(現倉庫資材棟)竣工	
2014年 2月	エネルギーマネジメント規格 ISO50001 認証取得(2019年3月 認証返上)	
5月	現社屋(災害時支援施設)竣工	
2016年 7月	小口電力(KGでんき)販売開始	
2022年 10月	株式会社リビングセンター長野からリフォーム事業と液化石油ガス販売事業を譲受	
12月	ゴールド保安認定事業者(第一号認定液化石油ガス販売事業者)認定	
2024年 3月	健康経営優良法人2024(中小規模法人部門)認定	
	需要家件数(都市ガスメーター取り付け数)	25,059件
	需要家件数(液化石油ガスメーター取り付け数)	964件

都市ガスの供給区域

河内長野ガス託送供給約款／別表に定める払出エリア



供給エリア内都市ガス導管網 (m)

	2023年3月末
中圧A	374
中圧B	25,012
低圧本管	94,937
低圧支管	148,187

II Top Message

社長メッセージ

平素から、河内長野ガスに格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この程、河内長野ガスのCSR（企業の社会的責任）活動報告として8冊目にあたるCSRレポート2024を作成いたしました。是非、ご一読くださいますようお願い申し上げます。

2023年は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行し、行動規制が大幅に緩和されたことで、社会経済活動は、ほぼコロナ禍前へ戻りました。一方、ウクライナ情勢の長期化やイスラエルと中東諸国との紛争、円安の進行、世界的な資源・エネルギー価格の高騰が相次ぐなど、経済の先行きが不透明な状況が続いています。

また、各業界・事業者において2050年のカーボンニュートラル実現に向けた脱炭素化への取り組みといった、持続可能な社会を目指す動きも加速しています。都市ガス業界としても、徹底した天然ガスシフトとその高度利用、水素やメタネーション等の手段を用いたガス自体の脱炭素化の推進などの取り組みを進めています。

このように事業環境は日々変化していますが、河内長野ガスは地域に根差すエネルギー事業者として、地域の皆さまの安心・安全で快適な生活をご提供できるよう取り組んで参ります。そして、環境や社会の変化・課題に柔軟に対応することで、お客さまからの更なる信頼獲得、地域の発展に邁進していく所存です。

CSRレポートを通じ、少しでも河内長野ガスの取り組みを知っていただければ幸いです。引き続き皆さまのご指導・ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



河内長野ガス株式会社
代表取締役社長

吉田 顕

2024年6月吉日

III

河内長野ガスグループのCSR活動に関する考え方

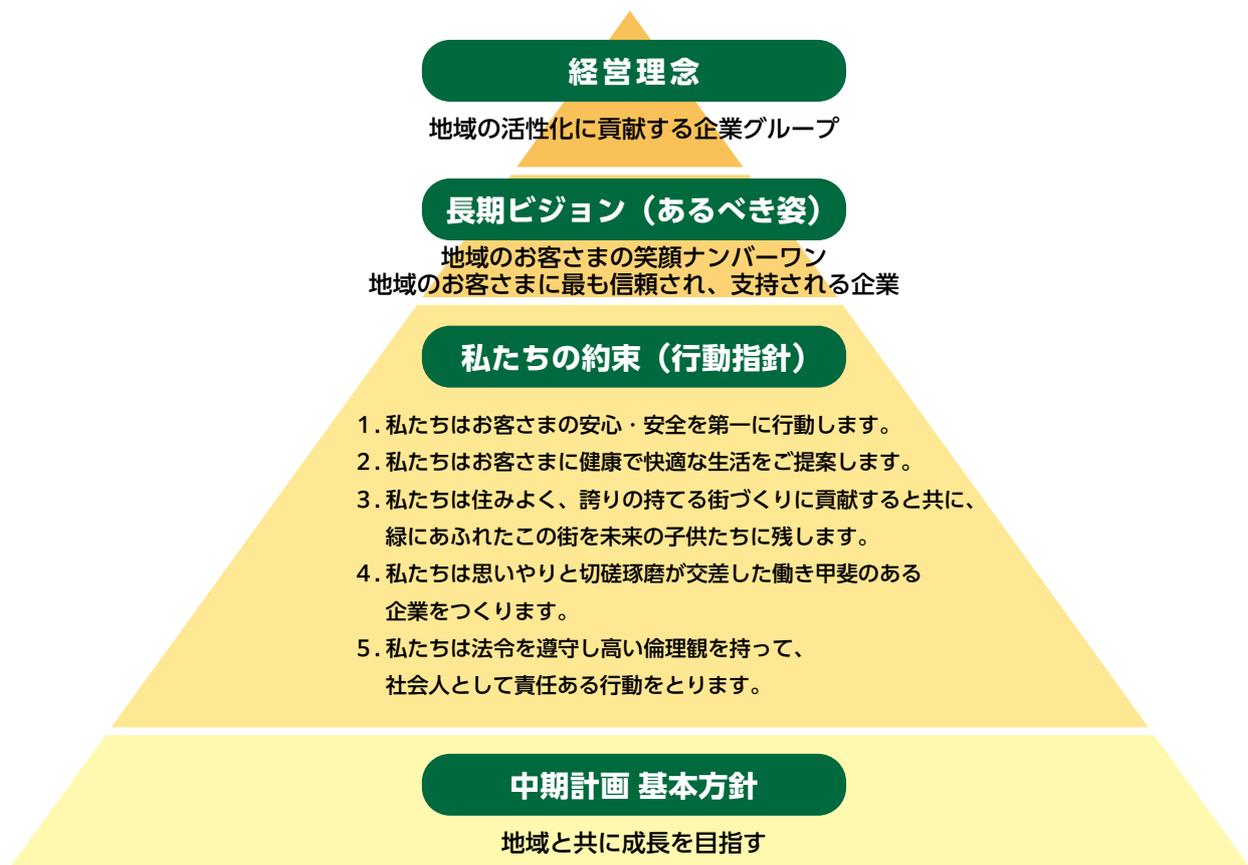
1 河内長野ガスグループのCSR活動に関する考え方について

河内長野ガスグループは、「地域の活性化に貢献する企業グループ」という経営理念のもと、地域の皆さまにエネルギーを安定的かつ安心して安全にお使いいただくこと、リフォーム事業を通じて健康で快適な住まいを提案していくことを通じ、企業としての社会的責任を全うし、SDGsの達成とあわせて地域のために貢献して参ります。

河内長野ガス従業員の大事な行動指針である「私たちの約束」は、持続可能な社会の実現を目指し、地域の皆さまとの信頼関係を築いていくための指針となっています。

これからも河内長野ガスグループはお客様・株主の皆さまをはじめとするすべてのステークホルダーから信頼されるために、コンプライアンスを一層徹底し、選択される企業グループであり続けたいと考えています。

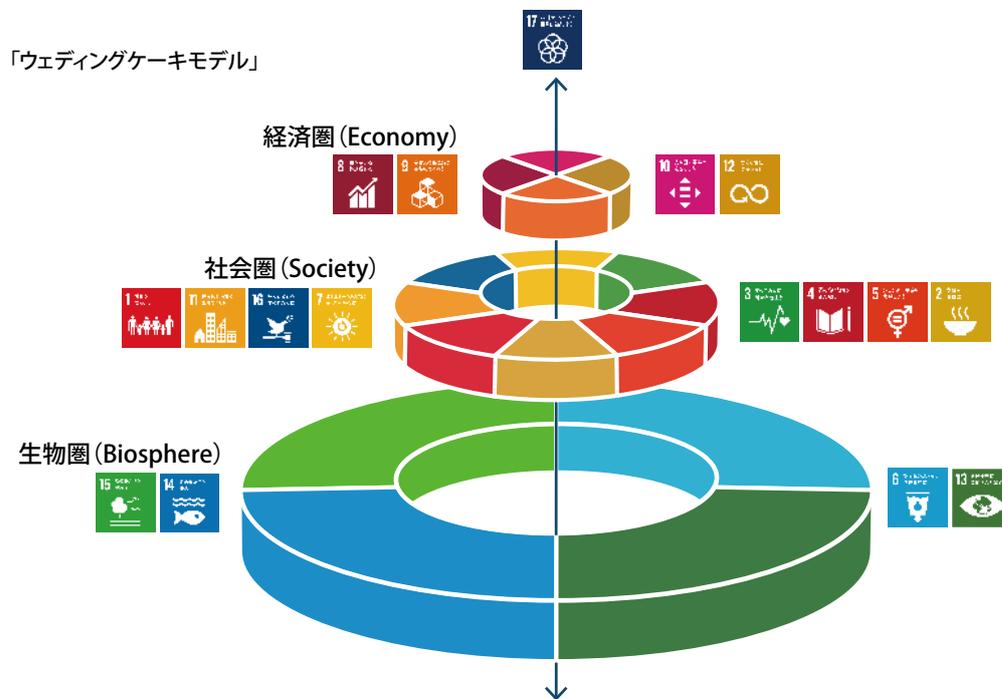
(1) 経営理念体系



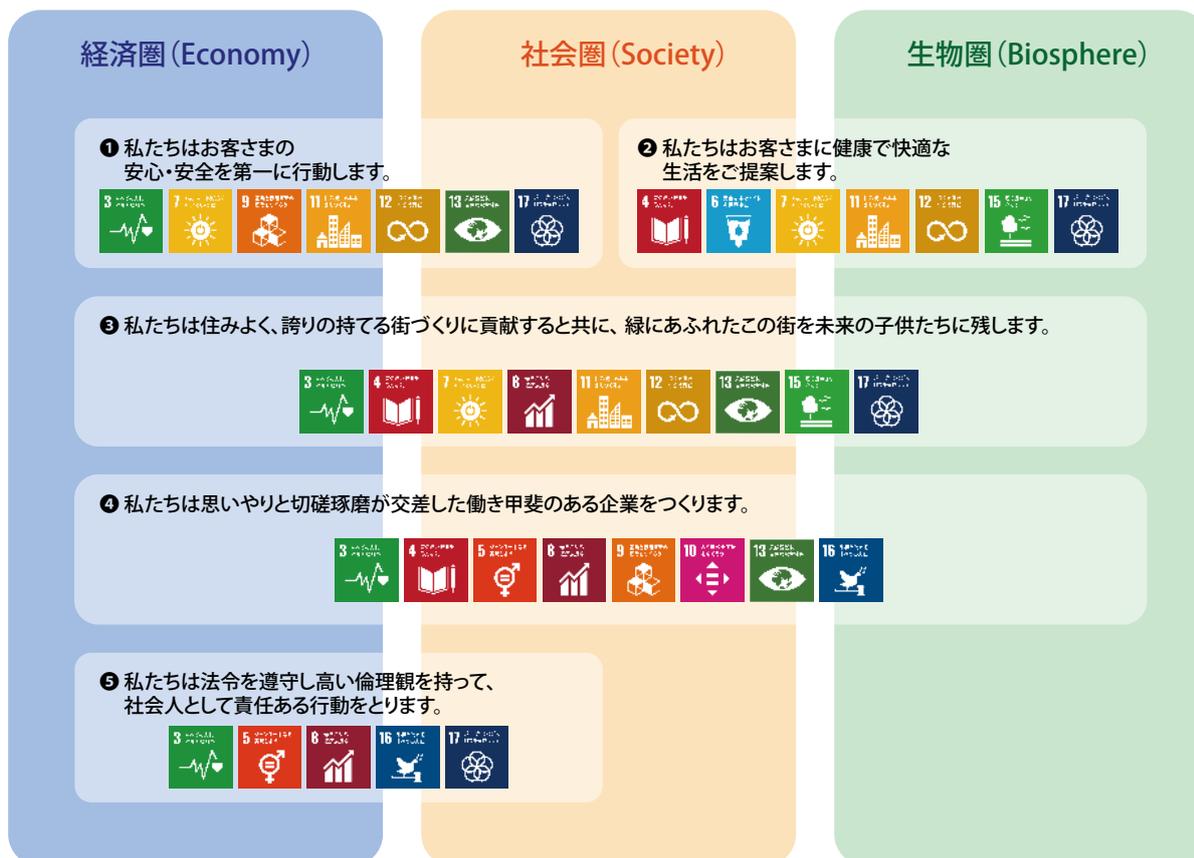
2024年度 スローガン 連携深化で低・脱炭素社会にコミットする

(2) 河内長野ガスのSDGsの取り組みについて

河内長野ガスは持続可能な開発の三側面、経済・社会・環境におけるSDGsの考え方を図式化した「ウェディングケーキモデル」に照らして取り組んでいます。図のように、「ウェディングケーキ」のような形をして下から順に「生物圏 (Biosphere)」・「社会圏 (Society)」・「経済圏 (Economy)」という3層構造となっており、下層2段は、中心部が空洞のドーナツ型で、環境なくして社会は成り立たず、社会なくして経済の発展はないということを表わしています。



●私たちの約束 (行動指針) と「ウェディングケーキモデル」の相関性

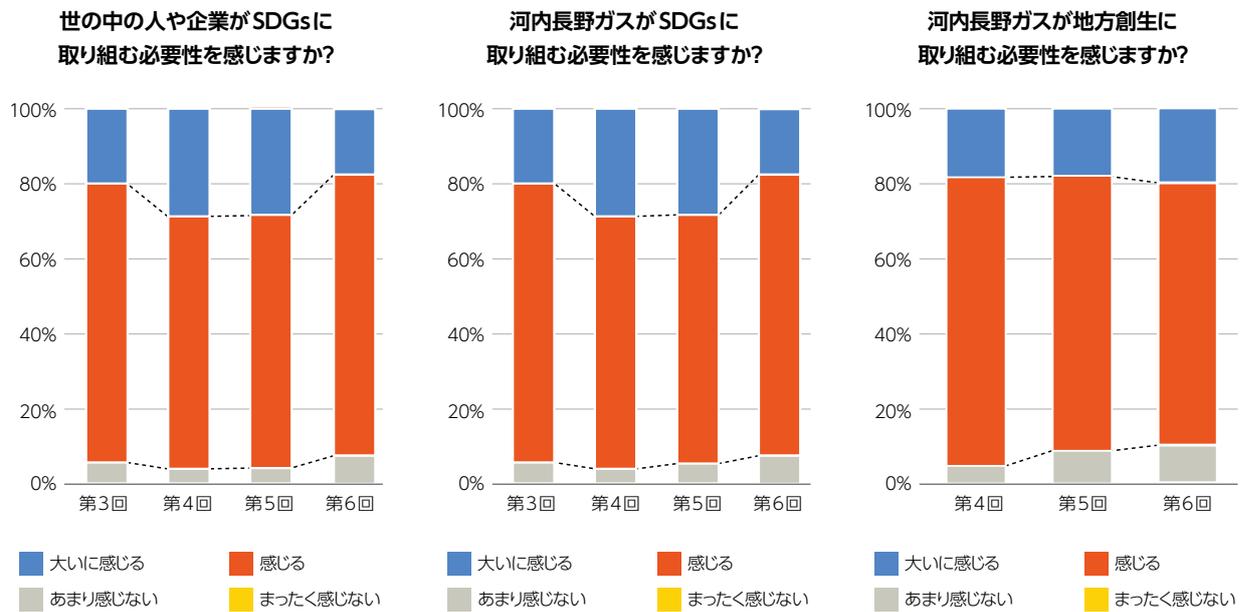


(3) CSR活動とSDGs

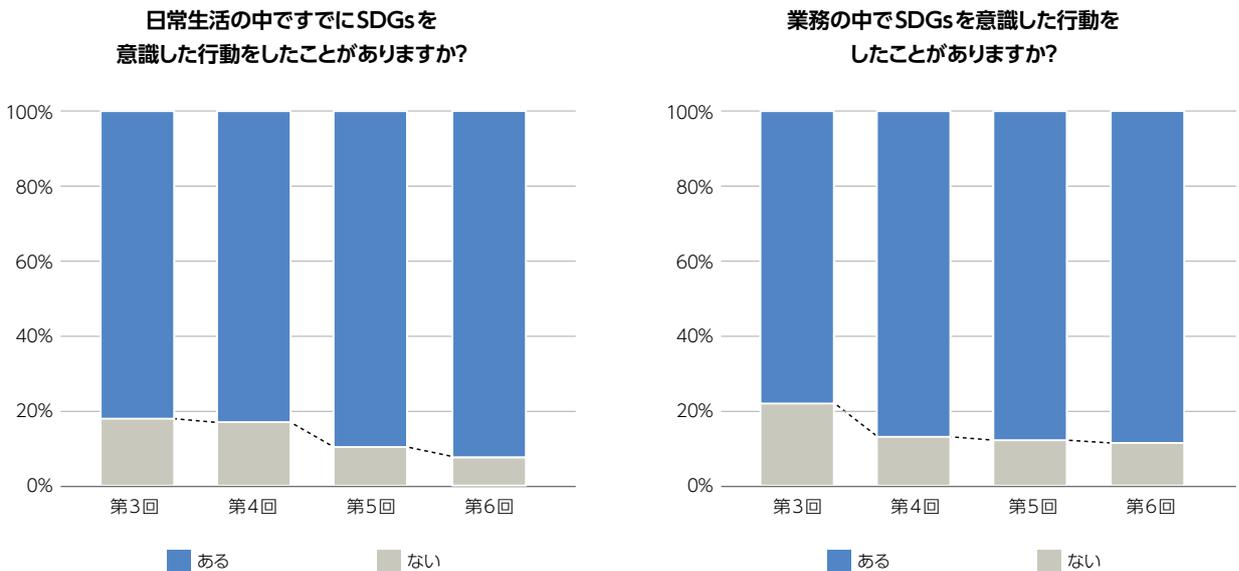
少子高齢化による人口減少等の多くの地域課題を抱える河内長野市を事業基盤とする河内長野ガスにとって、地域課題の解決のため、事業活動や地域貢献活動をSDGsの視点で取り組んでいくことが必須であると考え、河内長野ガスは2020年度から2022年度までの3年間、SDGsを全従業員に啓発する横断的組織であるSDGs部会を立ち上げ、取り組んできました。河内長野ガスでは、定期的に従業員（役員含む）に対してSDGsアンケートを実施し、従業員（役員含む）のSDGsへの意識調査をしています。

●河内長野ガス従業員（役員含む）対象SDGsアンケート結果

河内長野ガスは、過去6回、従業員（役員含む）に対してSDGsへの取り組み意識を調査するアンケートを行いました。



SDGsが浸透し、普段からSDGsに取り組んでいるからか、これ以上の取り組みにあまり必要性を感じない従業員（役員含む）の割合が増えている。



世の中で、SDGsへの取り組みが当然となっている現状において、従業員（役員含む）による日常生活や業務においてSDGsを意識した行動をしている割合が最大となった。従業員（役員含む）のSDGsへの意識は高い。

IV Topics

トピックス

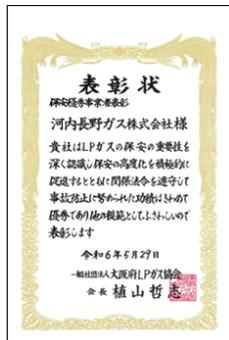
1 Topics

2023年度の河内長野ガスのトピックスについて紹介します。

(1) 健康経営優良法人2024 (中小規模法人部門) に認定

2024年3月、河内長野ガスは、健康経営優良法人2024 (中小規模法人部門) に認定されました。健康経営優良法人とは、経済産業省等が制定した健康経営優良法人認定制度により顕彰される優良な健康経営を実践している法人です。今回の認定は、河内長野ガスが、認定の必須項目である毎年の健康診断や再検査等の受診勧奨、ストレスチェックの実施に加え、有給休暇の取得促進やインフルエンザの予防接種の実施等の取り組みが評価された結果です。

河内長野ガスは、これからも地域の皆さまへの貢献と共に、従業員が働きやすい職場づくりを推進して参ります。



(2) 河内長野ガスが市長表彰を受賞

2023年11月、令和5年度の河内長野市市民表彰式が執り行われ、地域の美化に貢献したとして、河内長野ガスが市長表彰を受賞しました。

河内長野ガスは「河内長野市アドプト・ロード・プログラム」に賛同し、月に1回程度、全従業員で本社周辺および「アドプト・ロード・プログラム」の清掃活動を行っています。「河内長野市アドプト・ロード・プログラム」とは、河内長野市が管理する道路の一定区間において、地元自治会や企業等の団体が市と協力し合いながら継続的に清掃等のボランティア活動を実施し、地域に愛されるきれいな道路づくりや地域の環境美化に取り組む制度です。河内長野ガスの永年の取り組みが評価されての受賞でした。

河内長野ガスは、これからも近隣の美化のため、近隣清掃を実施して参ります。



(3) 富田林税務署より優良申告法人として表敬

2023年11月、河内長野ガスは、富田林税務署より優良申告法人として表敬されました。優良申告法人とは、税務調査において経営内容が優良で適正な申告と納税がされ、かつ経理処理が特に優良な企業と認定された企業を表敬する制度です。今回は適正申告のための態勢が極めて良好と認められたことによる表敬でした。

河内長野ガスは、これからも適正申告・適正納税を行い、地域に貢献し続けられるよう、弛まぬ努力を続けていきたいと思っております。



(4) ホームページをリニューアル

2024年4月、河内長野ガスは、ホームページをリニューアルしました。

ホームページをパソコンやスマートフォンでも見やすくし、お客さまがお引越しや緊急時など、必要な情報をすぐに確認できるようにしています。また、セキュリティ面の強化とともに、ガス設備点検の日時変更、ガス機器の修理や見積もりの依頼もホームページからできるようになり、お客さまにとって安心して快適に閲覧していただけるホームページとなりました。



(5) 会員サイト創設

2024年6月、河内長野ガスは、「河内長野ガス会員サイト」を立ち上げました。

「河内長野ガス会員サイト」にご登録いただく事により、お客さまの利便性を高めサービス向上に取り組んで参ります。

【主な特徴】

- ① ガス・電気の料金や使用量の確認（過去2年分）
- ② 各種手続きの受付（支払方法変更、料金メニュー変更、各種証明書の発行等）
- ③ ショールーム来館予約
- ④ ガス機器、リフォームの見積受付



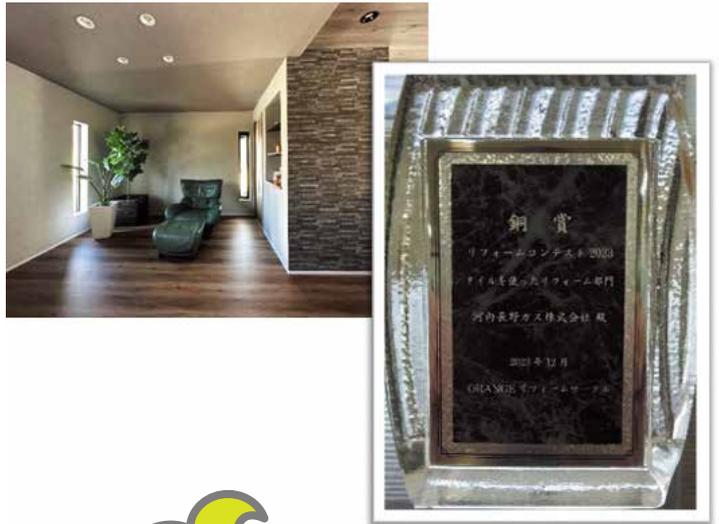
河内長野ガス会員サイト

(6) リフォームコンテストで入賞

2023年12月、河内長野ガスは、平田タイルが運営する会員サークル ORC (オレンジリフォームサークル) のリフォームコンテスト2023 「タイルを使ったリフォーム部門」にて、銅賞を受賞しました。

今回のリフォームは、将来にわたり家族が安心して快適に暮らせるようにと全面リフォームを決意されたお客さまが、河内長野ガスを「親切で丁寧な対応」と評価し、お声掛けいただいたことが始まりです。河内長野ガスコーディネーターがお客さまと何度も打ち合わせを重ね、リビングや玄関などにタイルを多く使用したリフォームが完成しました。お客さまには「大満足!」と喜んでいただいております。

河内長野ガスは、これからもお客さまにご満足いただけるリフォームを追求して参ります。

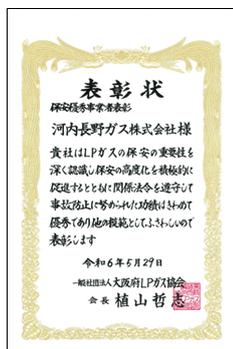


(7) 大阪府LPガス協会より2024年度「保安優秀事業者」表彰を受彰

2024年5月、河内長野ガスは、2024年度「保安優秀事業者」として大阪府LPガス協会より表彰されました。本表彰は、大阪府LPガス協会に入会しているLPガス事業者のうち、LPガスの保安レベル向上への取り組みが優秀と評価された事業者を表彰するものです。

今回の表彰は、保安レベル向上のため、遠隔監視システム(LPWA)の普及率を2023年度に94%まで高めたことや、永年にわたり定期的なガス設備点検や従業員の教育訓練等により事故防止に努めたことによるものです。

河内長野ガスは、これからもさらなる保安レベルの向上に取り組んで参ります。



V 安心・安全への取り組み

私たちの約束1

私たちは、お客さまの安心・安全を第一に行動します。



1 ガスを安全にお届けするために

私たちは、都市ガス・LPガスを供給する企業として、お客さまの安心・安全に向けた取り組みをしています。

(1) 保安体制について

① 24時間・365日の保安体制

お客さまからの通報(ガスが漏れている、ガスの臭いがする等)、警察や消防からの要請に備え24時間・365日の出動体制を敷いています。



緊急車

② 都市ガスの安定供給と監視システム

安定したガス供給を行うため、ガス受入設備や供給区域内の各地区の供給設備にて、リアルタイムでガスの供給状況を収集し、導管を流れるガスの圧力や流量を24時間365日体制で集中監視しています。



供給管理室

③ LPガス遠隔監視システム

河内長野ガスでは、さらなる保安の向上を目指してLPガスをお使いのお客さま宅へ遠隔監視システムの普及拡大に努めています。このシステムは、無線による通信技術を用いて、遠隔操作による緊急時のガス停止や検針を行うことができます。

2023年度には、普及率が94.0%となり、今後もより一層の保安レベル向上を目指し、普及率を拡大して参ります。

●お客さまへの緊急時連絡と対応

ガスメーターが異常を検知すると、その情報を即座にキャッチし、お客さまへ速やかに対応することができます。



●緊急時のガス供給停止

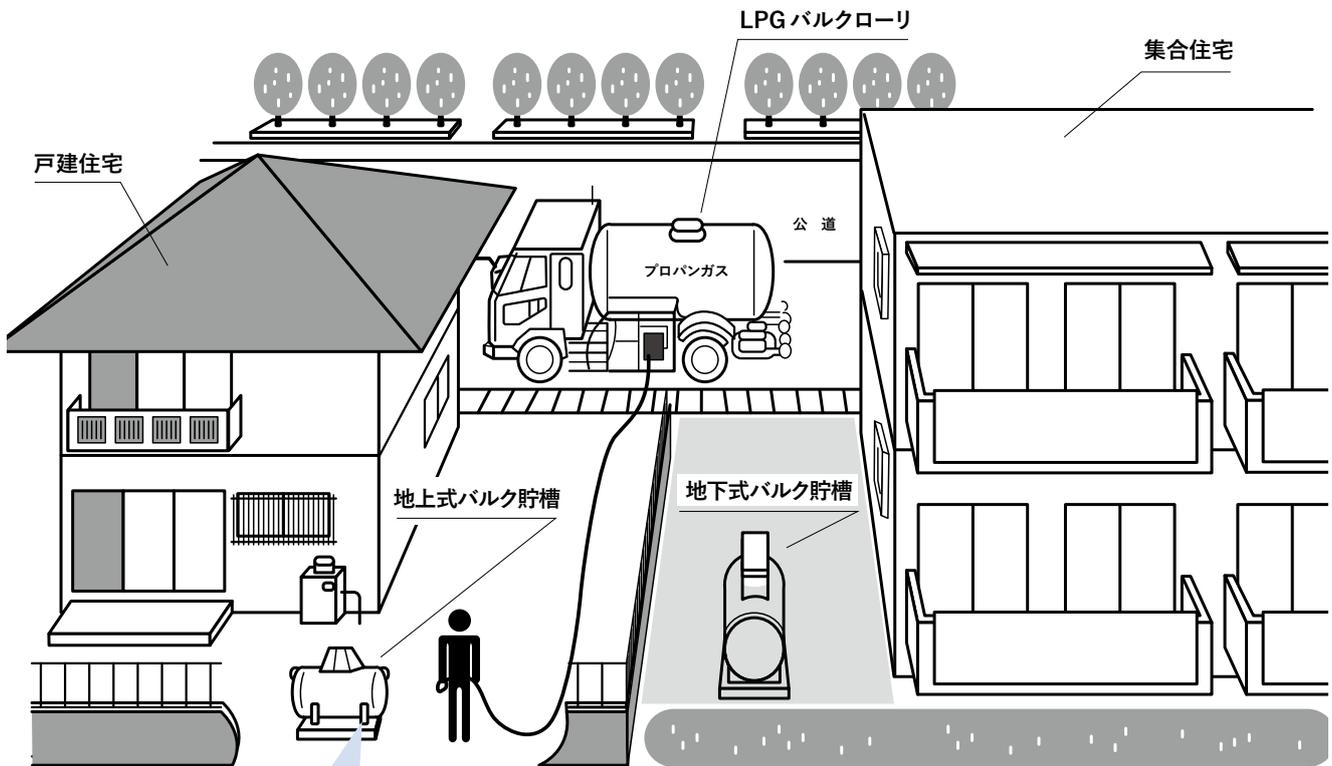
河内長野ガスが緊急と判断した場合や、お客さまからの通報により遠隔操作でガスの供給を停止することができます。



④ LPガスのバルク供給について

バルク供給方式とは、従来の容器交換方式ではなく、集合住宅、業務用等に設置されたバルク貯槽に、バルクローリーで直接LPガスを充てんする供給方式です。

従来のガス充てん容器のように、LPガス容器とガスホースのつなぎ替えをする必要がなくなり、人為的ミスの防止や、また地面への固定による転倒防止など保安面の向上という利点もあります。河内長野ガスのバルク供給方式によるガスの供給は20数年の実績があり、バルク貯槽は製造後20年が経過すると告示検査を行うか、くず化を行うよう液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律で定められています。河内長野ガスでは20年を経過する前に新たなバルク貯槽の入替を実施しており、今後もお客さまに更なる安心・安全をお届けできるよう努めて参ります。



バルク供給のイメージ



バルク貯槽

(2) お客様が安心・安全にガスをご利用いただくために

① ガス導管の維持管理

お客様に安全にガスをお届けするために、定期的なガス導管の漏洩調査・供給設備の点検、地震に強いガス導管への改修を実施しています。また、他企業者による道路工事(水道・下水・電気・電話工事等)でのガス管破損の防止のため、事前の協議や工事現場の立ち会い・パトロール等を行っています。



点検の様子

② ガス警報器・CO警報器の取り付け意義と取り付け状況

お客様起因によるガス漏れ事故のほとんどは、「ガスを消したつもり」「ガス栓を閉めたつもり」「すぐにもどるつもり」等「うっかりミス」が原因となっています。ガス警報器を設置していれば適切に作動して、人のうっかりミスによる事故の防止につながります。

河内長野ガスは、ガス漏れ事故を未然に防ぐため、ガス警報器の取り付けを推奨しています。店舗等のガスの使用量が多いお客様には、ガス警報器だけではなく、COによる中毒事故を防止するCO警報器の取り付けも提案しています。

ガス警報器は、火災警報機能付きタイプもあり、ガス漏れだけではなく、火災による被害拡大の防止にも役立っています。

さらに、2020年度から電池式タイプのガス警報器も導入し、電気コンセントがなく、ガス警報器の取り付けが難しかったお客様に対しても提案できるようになりました。電池式タイプのガス警報器なら災害時に停電しても作動するのでとても安心です。

●ガス警報器新規取り付け台数

(件)

年度	都市ガス用警報器		LPガス用警報器	
	台数	普及率	台数	普及率
2023年度	421	39.66%	41	78.70%
2022年度	311	39.77%	57	77.80%
2021年度	339	39.33%	57	77.10%

●都市ガス用

電源式タイプ



YP-776
(壁取り付け用)



XW-225G
(天井取り付け用)

電池式タイプ



MC-325
(壁取り付け用)

●LPガス用

電源式タイプ



APH-40N
(単体型)



APH-32SV
(連動型)

③ ガス設備点検

河内長野ガスでは、「ガス事業法」に基づき、4年に1度、お客さまがガス設備を安全にご使用いただけるように、ガス事業者が義務付けられたガス設備点検を実施しています。

ガス事故を未然に防止し、お客さまの身体と資産を守るため、実施しています。ガス設備点検の際にはご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

●ガス設備法定点検実施件数

(件)

	都市ガス	LPガス
2023年度	5,091	198
2022年度	4,949	137
2021年度	5,369	220



点検の様子



あんしん基礎ガイド(安全周知書面)

④ ガス工事の品質確保と向上への取り組み

お客さまに安全にガスをお使いいただくために、ガス工事施工の標準化を行い、施工品質の検査・向上に取り組んでいます。

2 防災についての取り組み

私たちは、災害の発生に備え、河内長野市と協力関係を築く等様々な対策を実施しています。

(1) 河内長野市と災害時等における支援協力に関する協定等を締結

河内長野ガスは、2014年の社屋の建て替えにあたり、産民管協働で平常時から「地域力」を活かす災害支援拠点づくりを目的として、2012年5月に河内長野市と締結した「災害時等における支援協力に関する協定」(防災協定)の内容を見直し、2024年5月に改めて締結し、災害時に各地から集まる復旧応援部隊のための敷地の提供等、河内長野市から支援を受けることとなりました。一方、河内長野ガスは、ショールームを災害時支援施設として提供し、また災害時用簡易トイレ(マンホールトイレ)等の資機材を河内長野市に貸し出し致します。

河内長野ガスは、これからも河内長野市と連携し、地域の防災力向上に取り組んで参ります。



調印式の様子

●災害時支援施設

①電気・都市ガス代替設備

災害時に電気・都市ガスの供給がストップしてもLPガスによる代替ガスで非常用電力の発電が可能

②マンホールトイレ

トイレ問題を解決し支援活動をサポート

③駐車場

支援を行う方々の前進基地として駐車場の一部を提供

④ショールームやセミナー室

支援者の待機場所として提供

⑤井戸

ろ過装置と併せて使えば飲料水になる

⑥災害ベンチ(かまどベンチ)

災害時にはかまどになるベンチで炊き出しが可能



マンホールトイレ



井戸



災害ベンチ(かまどベンチ)

(2) 地震・災害への対策

昨今激甚化している地震・災害に対するより一層のレジリエンス(回復力、復元力)の向上を目指して、さまざまな安全対策を講じています。

① 耐震性の高いガス導管

道路に埋設されているガス導管は、中圧・低圧導管とともに耐震強度に優れた材料を採用しており、大規模地震による損傷を最小限にとどめるように対策をしています。

河内長野ガス耐震化率	99.8%	2023年度末実績
全国平均耐震化率	91.9%	2022年度末実績



ポリエチレン管への取替作業

② お客さま宅の安全対策

すべてのご家庭にマイコンメーターを設置し、多量のガス漏れ、地震(震度5相当以上)などを感知すると自動的にガスを遮断します。

③ 二次災害の防止

大規模な地震により被害が発生した場合は、情報を収集・集約し、迅速かつ適切な措置を実施します。その際、二次災害の防止のため、やむを得ない場合は最小限度のお客さま宅に、ガス供給停止をお願いすることがあります。また、河内長野ガスの供給区域をブロック化することにより、より細かく供給停止範囲を制限できるようにしています。



ブロック化された供給区域

④ 緊急動員体制

供給区域内で大規模な地震や台風・豪雨等による災害の恐れがある場合、若しくは発生した場合には、休日・夜間に関わらず災害対策組織を構築し、迅速な情報収集と適切な措置によりお客さまの安全を守ります。

⑤ 教育・訓練

河内長野市が大きな被害を受けると想定される地震災害や近年甚大な災害をもたらしている台風豪雨等の異常気象に備え、訓練を実施しています。



実技教育の様子

⑥ 災害時に強いLPガス

LPガスは、ガスが充てんされた容器を各家庭に届ける「分散型エネルギー」です。これにより配管など供給設備の点検も短時間で済み、異常があった場合でも迅速に復旧することができます。

LPガス容器は、1本を予備用として2本設置、常に予備が1本あるので災害時にも役立ちます。



V 快適な生活をご提案

私たちの約束2

私たちはお客さまに健康で快適な生活をご提案します。



1 快適な生活をご提案

(1) お客さまの生活を快適にするリフォームのご提案

1985年11月より地域の皆様に寄り添い、質の高い生活のご提案をして参りました。



そして2022年10月、「河内長野ガス クラッシュモリフォーム」に生まれ変わり、都市ガス事業等との一体運営を開始しました。

地域密着を大切に考え、河内長野市、富田林市、大阪狭山市を中心に、これまで以上に地域の皆さまに近い存在として、お客さまのご要望を詳細にお伺いし、これからもずっと住み続けたいと思える、快適で安心できる空間造りを提供して参ります

河内長野ガスでは、お客さまの新しい暮らしを形にするため、有資格者のプランナーが丁寧なヒアリングを行い、図面やイメージパースを用いたご提案をもとに、入念な打ち合わせを行った後、経験豊富な工務担当者を中心に工事を進めて参ります。また、リフォーム後も心地よく暮らして頂けるよう地元ならではのアフターサービスもご好評を頂いています。様々な専門分野を持つ河内長野ガスだからこそその信頼と実績でお客さまのご要望にお応えいたします。(2024年3月末現在 延べ施工実績件数 18,437件)



施工事例

過去の受賞歴

2018年11月	クリナップリフォーム 水まわり工房 スタートダッシュコンテスト2018	クリナップ賞
2019年12月	ジェルコリフォームコンテスト2019 近畿大会	ベストリフォーム賞
2020年11月	クリナップリフォーム 水まわり工房 スタートダッシュコンテスト2020	プラチナ賞
2021年11月	クリナップリフォーム 水まわり工房 スタートダッシュコンテスト2021	プラチナ賞
2023年12月	「ORCリフォームコンテスト2023」タイルを使ったリフォーム部門	銅賞

(2) 省エネ設備の普及拡大へ

省エネ設備には、節水型トイレ・節水シャワー・エコシングル水栓や内窓設置・断熱改修等が挙げられます。これらの商品を使用して頂くことで節水・省エネになり家計の経済面をサポートするとともに、環境への負荷の低減につながります。

① 省エネ設備の普及の意義

地球に様々な影響を与える温室効果ガス(CO₂)の発生を抑制するため、クラッシモリフォームは、省エネ設備を提案しています。一人でも多くの方が省エネ設備を採用することで、温暖化防止とお客さまの健康で快適な生活を支えていきたいと考えています。

② 河内長野ガスが提案する省エネ設備

●節水型トイレ

従来のトイレは1回流す毎に約13ℓの水を流していました。最新のトイレに入れ替えると使用する水の量は約5ℓとなり、8ℓもの節水になります。また、フチのないものや表面加工により、お手入れも楽になります。



●節水シャワー

シャワーヘッドの穴を小さくしたり、穴の数を少なくしたりといった仕組みで、通常よりも水の使用量を減らすものや、水に空気を含ませることで水の一粒子一粒を大粒化させるもの等があり、従来のシャワーに比べて約35%の節水ができます。



省エネ設備(節水型トイレ) 販売台数 (台)

	節水型トイレ
2023年度	70
2022年度	98
2021年度	68

●省エネレバー水栓

従来のシングルレバー混合栓では湯水混合だったレバー中央部を、水の吐水域に設定。無意識にレバーを操作して、知らずにガス給湯機が作動するムダを防ぎます。さらに、水と湯の境にクリック感を作り、水と湯を意識して使い分けできる構造によって約20%のガスの節約になります。

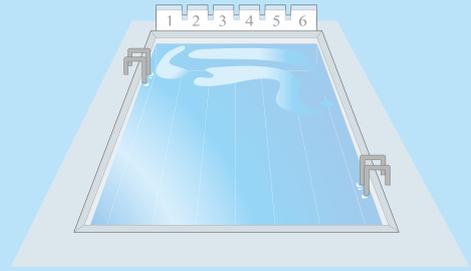


●内窓設置・断熱改修

内窓設置で室外と室内をしっかりと隔てる構造になるため、大きな断熱効果となります。外気温の影響を受けにくくなり、結露の発生を大幅に抑えることができ、冷暖房効率が上がるため電気代が節約出来ます。また、窓ガラスの枚数が増えることで防音効果も得られます。



河内長野ガスは、節水型トイレ（便器）の販売を通じて、年間359万ℓの節水に貢献できました。これは、25mプール 7.4杯分に相当します。



(3) 耐震診断・耐震補強リフォーム

2000年以前に建てられた建物は、現在の耐震基準を満たしていない可能性があります。耐震補強リフォームをすることで引き続き安心して居住いただけます。

耐震リフォームは、柱や梁自体を補強する方法、壁自体を耐力壁として補強する方法、耐震金物を使って補強する方法、屋根を軽くする方法等いろいろな方法があり、耐震診断はこれらの中から適切な補強方法を決めるために行うものです。きっちりと診断する事で、最適な補強方法をご提案します。

① 耐震診断

耐震診断ソフト:ホームズ君「耐震診断Pro」を使って診断をいたします。この診断ソフトは財団法人日本建築防災協会が認定しているプログラムで、全国の自治体や建築士団体が利用しており、診断結果は非常に信頼度の高いものです。

② 耐震補強 屋根の軽量化

重い屋根材は建物に負担がかかり、それを支える力が必要です。軽量で、丈夫な屋根材に取り替えることで耐震性を強めます。



③ 耐震補強 壁の補強

壁の補強をすることで、地震力を壁に負担させ揺れにくくすることが出来ます。壁大将（大建）は天井、床はそのまま壁の補強をすることができます。



④ 耐震補強 金物の補強

木材の抜けを防ぐために強度不足の接合部を耐震金物で補強します。



⑤ 耐震補強 基礎の補強

20年以上前の基礎は無筋コンクリートで施工されている場合があります。鉄筋を入れた布基礎やべた基礎に比べ強度が不足がちです。このような基礎は鉄筋の基礎を増し打ちする方法と炭素繊維シートで補強する方法等があります。また、クラックの入った所にはエポキシ樹脂を注入し補修します。



2 ガス機器を通じた快適な暮らしのご提案

河内長野ガスは、お客さまの生活を快適にするガス機器のご提案をしています。エネルギーを使う生活から、つくる・トクする生活を実現する「エネファーム」をはじめ、寒い冬を快適に過ごすことができるガス床暖房やガスファンヒーター、毎日のお料理を楽しくするガラストップコンロ、ガスのパワーで短時間で衣類を乾燥させるガス衣類乾燥機まで、幅広いラインナップをご用意しています。

また、電気とガスのセットでおトクになるガス料金メニュー等を提案し、お客さまの経済面もサポートいたします。



ガス衣類乾燥機

コロナ禍以降、ウイルスに対する関心が高まる中、ガス衣類乾燥機は、除菌・抗ウイルスの効果があります。また、洗濯物が乾きにくい雨の日や冬の寒い日でも短時間でからっと乾燥し、天日干しが不要なので、花粉の季節や黄砂、PM2.5等の大気汚染が気になる日も安心です。長年多くの方に愛用されています。



最新型ガラストップコンロ



ガス温水床暖房



ガスファンヒーター

(1) 環境にやさしいエネファーム、エコジョーズ普及拡大へ

エネファーム、エコジョーズの普及の意義

家で発電できるエネファームなら、遠方の発電所から送電される際の電力のロスがなく、発電時に生じる排熱を給湯等に使えるので、電気や熱のエネルギーの約85%~97%を利用でき、CO₂排出量を1年間に約1.3tも削減できます。(メーカー、種類により異なります。)

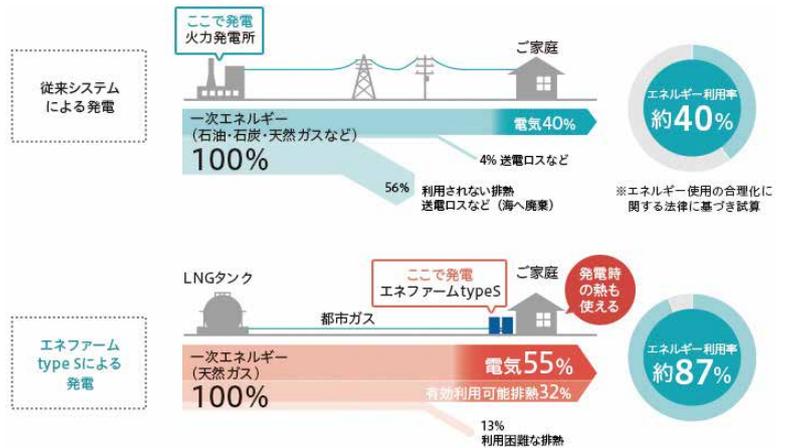
また、停電時には自立運転する機種もあり、いざという時も安心です。

エコジョーズは従来型のガス給湯器と比べCO₂排出量を約13%削減できます。地球温暖化の一因となるCO₂排出量を従来に比べ大幅に削減します。



マイホーム発電「エネファーム」

エネファームのエネルギー利用率について



●エコジョーズ、エネファームの販売台数

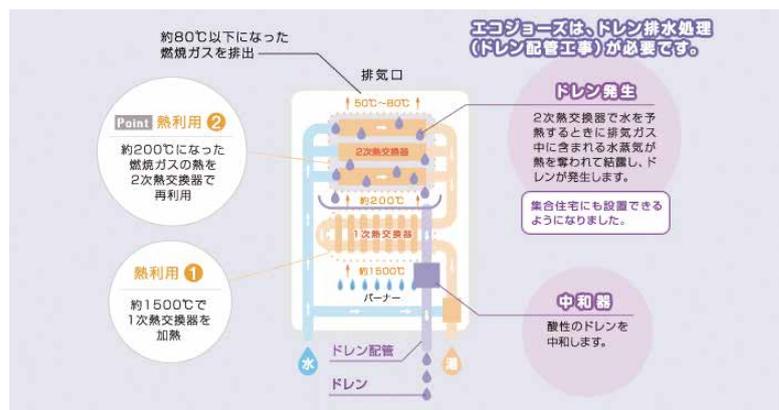
年度	エコジョーズ		エネファーム	
	台数	前年比	台数	前年比
2023年度	262	76%	33	103%
2022年度	343	191%	32	152%
2021年度	179	79%	21	263%

2023年度はエコジョーズの販売を通じて年間約62t・CO₂の排出を削減しました。これは、杉の木約4,500本が一年に吸収するCO₂と同じ量です。



省エネ給湯器「エコジョーズ」

省エネ給湯器エコジョーズのしくみ



(2) お客様へのサービス向上を目指した部会活動

① 部会の目的

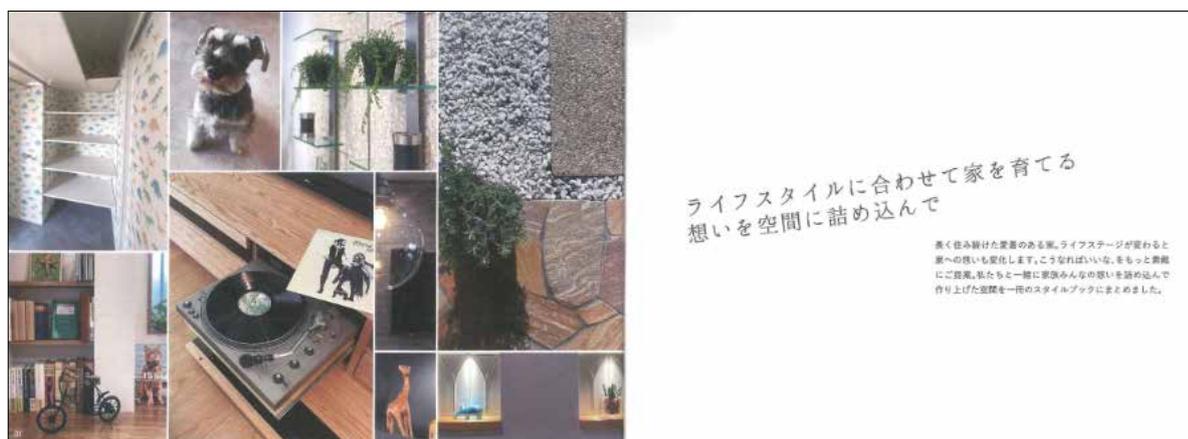
河内長野ガスは、2020年度に地域のお客さまとの信頼関係を築き、継続的な関係性を構築するために、サービス業務の拡充やプラスワンサービスの展開を目的として、全社横断的な組織であるCS・KGGイノベーション部会を発足させました。2021年度から2023年度まではコロナ禍の影響等もあり、活動を停止しておりましたが、活動再開に向けて準備を進めています。

● 2024年度において部会にて実現させたいこと

- ・販売したリフォーム商材の長期延長保証の実現
- ・デジタル技術によるペーパーレスでの手続きや決済等の拡大
- ・リフォームとガス関連サービスの一体化に伴うお客さまへのサービス内容の具現化



お客さまのライフスタイルに合わせたリフォームの提案情報や地域のお店ガイドを「別冊 crassimoNAVI」として1冊にまとめました。



② お客様の声の確認

河内長野ガスでは、お客さまからいただいたご意見を月ごとに集計し、役員、部会メンバーで共有し、業務に活かすようにして参りました。

しかし、近年は、コロナ禍の状況下もあり、お客さまへのアンケートがあまりできておりませんでした。そこで、お客さまへのアンケート方法等の見直しを図り、一人でも多くのお客さまの声をいただき、業務に活かしていきたいと考えています。

3 お客様の快適な生活を支える情報発信

(1) 暮らしの情報発信基地「crassimo (クラッシモ)」

河内長野ガスショールーム「crassimo (クラッシモ)」では、最新のガス機器やキッチン、トイレ、浴室、ガスの安全機器等、お客様の安心・安全で快適な生活を支える商品を多数取り揃え、展示しています。

●レンタルスペース

ショールーム内一部スペースを地域の皆様の交流の場として貸し出しています。レンタルスペースを利用してカルチャースクール「クラッシモサロン」として、ヨガ、書道、手芸教室等を開講しています。

●カルチャースクール開催実績 (回)

	クラッシモサロン
2023年度	304
2022年度	205
2021年度	286



ショールーム「クラッシモ」館内

●楽しいイベントの開催

ショールームでは親子で気軽にご参加いただけるイベントを開催しています。夏のファミリーデーの特別教室では廃油を使って石けんとキャンドル作りに挑戦し、リサイクルしながら石けんが出来るまでの工程を体験していただきました。他にも小物づくりや子供縁日コーナーなどを開催し、たくさんの方にご参加いただきました。

河内長野市商店連合会様のハロウィンイベント「街中でトリックオアトリート」にも協賛するなど地域に開かれたショールームを目指しています。



イベントの様子

(2) 豊富な情報発信ツール

河内長野ガスでは暮らしの情報紙「Crassimo NAVI」を年4回発行しています。リフォームのお客さまへのインタビューと豊富な写真による最新設備を取り入れた事例紹介や河内長野ガスのイベント情報、クラッシモサロンのご案内、ガスを安全にお使いいただくための情報、地元で話題のお洒落で美味しいお店の紹介等盛りだくさんの内容となっています。

LINE公式アカウントやインスタグラムではお得なキャンペーンのお知らせや暮らしに役立つ様々な情報をいち早くお届けしています。ぜひお友だち登録をお願いします。



「Crassimo NAVI」



クラッシモ LINE公式アカウント



河内長野ガス クラッシモ インスタグラム

VII 子供たちの明るい未来のために

私たちの約束3

私たちは住みよく、誇りの持てる街づくりに貢献すると共に、
緑にあふれたこの街を未来の子供たちに残します。



1 環境への取り組み

2020年10月に日本政府が「2050年カーボンニュートラル」を目指すことを宣言したことで、低・脱炭素化の動きが活発化しています。カーボンニュートラルとは、二酸化炭素(CO₂)をなくすのではなく、二酸化炭素(CO₂)の排出量と吸収量を均衡させることを意味します。また、2030年度の新たな温室効果ガスの削減目標として、「2013年度比で46%削減することを目指し、さらに50%の高みに向けて挑戦を続ける」との方針が示されました。

政府の方針を受け、日本ガス協会は、2020年11月に「カーボンニュートラルチャレンジ2050」を策定し、2021年6月には同アクションプランを策定しました。これをもとに、日本各地の都市ガス事業者とともに、官民連携のプラットフォーム等の活動を通じて、自治体、地域住民、地元企業等地域のステークホルダーを繋ぐハブ機能の充実化を進めています。

全国の都市ガス事業者は、今後、より一層、地域の分散型エネルギーの普及促進に向けた取り組み、まちづくり、低・脱炭素化、レジリエンス強化のみならず、地域内経済循環の実現を目指し、地方創生にも貢献していきます。

河内長野ガスは、エネルギー供給会社として、環境への配慮の重要性を理解し、天然ガスの普及拡大による低炭素化を推進すると共に、本社社屋に省エネ、環境面の配慮を施す等、低・脱炭素化に向けて取り組んでいます。

(1) 都市ガス事業の未来に向けて

日本で使われるエネルギーの実に約60%が熱エネルギーであり、その中には電力等では実現できない高温の熱需要等も多くあります。また、水素等のエネルギーも供給するためのインフラをあらたに構築しないといけない等の問題があります。そのため、温室効果ガス排出が少ない、天然ガスというエネルギーは、石炭や石油に代わるエネルギーとして、また再生可能エネルギーとベストミックスで用いられるエネルギーとして、これまで以上の積極的な活用が求められる状況になっています。

まず、都市ガス事業者は、国が掲げる2030年までにCO₂排出量を2013年比で46%削減するという目標に向けて、カーボンニュートラル時代が到来する中、徹底的な省エネ・省CO₂の取り組みを続けて参ります。さらに都市ガス事業者は、都市ガスそのものの脱炭素化するという課題があります。その課題を解決するために注目されているのがメタネーションという技術です。メタネーションを活用することで、工場等から排出されるCO₂をリサイクルし、水と再生可能エネルギー由来の水素と組み合わせ、あらたな都市ガスを生成することができます。メタネーションという技術で製造されたものをe-methane(イーメタン)と呼んでいます。

e-methane(イーメタン)は、都市ガスの既設導管や、お客さま先のガス機器等がそのまま活用できます。

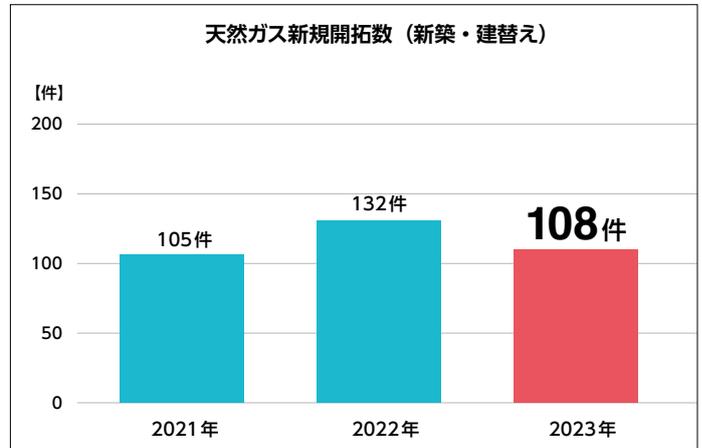
2050年にカーボンニュートラルが実現した際には実に都市ガス原料の約90%がe-methaneになると予想されています。

(2) クリーンエネルギー天然ガスの普及拡大

河内長野ガスが供給する都市ガスの主原料である天然ガスは、燃焼時において、地球温暖化の原因物質である二酸化炭素 (CO₂) の排出量が、石油や石炭に比べて少なく、再生可能エネルギーとベストミックスで用いられるエネルギーであり、また、世界各地に豊富に埋蔵されているため、安定供給しやすいという利点があります。

河内長野ガスは、クリーンエネルギーである天然ガスの普及拡大に努めています。2023年度は、108件の新しいお客さまへ天然ガスを供給開始いたしました。

河内長野ガスは、これからもお客さまの明るい未来のため、天然ガスの普及に取り組んで参ります。



(3) 省エネ・環境性に配慮した本社社屋

建築環境総合性能評価 (CASBEE) *最高Sランクを取得した本社社屋は、2014年に「コージェネ大賞」民生用部門 優秀賞、「BCAOアワード2014」企業防災部門 企業防災賞、「第8回大阪サステナブル建築賞」優秀賞を受賞いたしました。

*建築環境総合性能評価システム (CASBEE) とは、建築物の環境性能で評価し格付けする手法で、省エネルギーや環境負荷の少ない資機材の使用といった環境配慮はもとより、室内の快適性や景観への配慮等も含めた建物の品質を総合的に評価するシステムです。

① 自家発電

社屋屋上に20kwの太陽光パネル及び35kwのガスコージェネレーションシステム 2台を設置し、自家発電により社屋で使用する全電力の約32%をまかなっています。

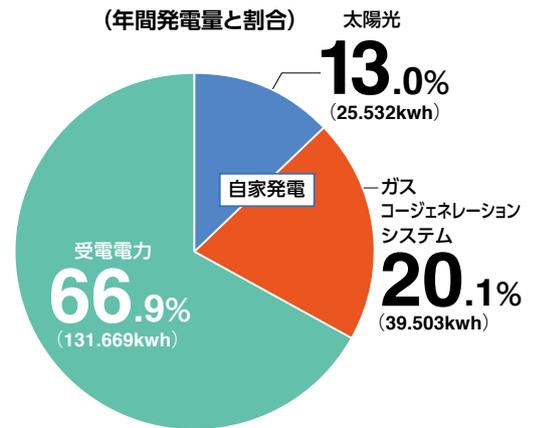


太陽光パネル



ガスコージェネレーションシステム

2022年度自家発電状況 (年間発電量と割合)



② 河内材の使用

河内長野市は豊かな森林に恵まれ、古くから河内林業地として木材を生産してきました。河内長野ガス本社社屋は、この地場産の河内長野杉を床面や壁面に用い、木の温もりを感じる空間になっています。



社屋内の様子

③ 省エネを実現する機能

セミナー室や風除室は、ペレット式空調で冷暖房をしています。これは間伐材を利用した木質ペレットを燃焼させる空調機で、森林資源の循環により、カーボンニュートラルで温暖化防止に貢献するシステムです。ペレット式空調を使用する際に排出される焼却灰は農業用肥料として効果が期待でき、地域貢献の一環として、NPO法人里山ひだまりファーム様に提供しています。

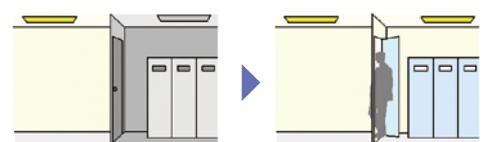
社屋の外壁にはひさしを設け、視界を確保しながら日射を抑制し、室内への熱の流入を防いでいます。

廊下、トイレ、更衣室には、人感センサーを設置し、人を感知すると照明を点灯、人がいない場合は自動的に照明を消灯することで、省エネを図っています。



ペレット式空調屋外機

ひさしによる日射抑制



不在時照明OFF

在室時照明ON

(4) 社内活動

① グリーン購入

文具や備品の購入にあたっては、環境に配慮した物品を購入すること及び環境への取り組みに熱心な事業者から購入することに努めています。

●グリーン購入品目実績(一例)

- ・紙類…印刷用紙、衛生用紙(トイレットペーパー)、封筒等 計8品目
- ・文房具類…ボールペン、ファイル、バインダー、のり等 計70品目程
- ・作業衣類…制服、作業服(ペットボトル再生樹脂使用)、作業用手袋等



② 近隣清掃活動

河内長野ガスは、河内長野市の掲げる市と民間企業等が協力して地域に愛されるきれいな道路づくりや地域の環境美化に取り組む「河内長野アドプト・ロード・プログラム」に賛同し、「アドプト・ロード・プログラム」と名付けた本社周辺の歩道の清掃活動(街路樹の落ち葉拾い、雑草除去等)を全従業員で定期的に行っています。アドプト(adopt)は、英語で「養子縁組をする」を意味し、1980年代半ばにアメリカで始まった制度で、地域住民の道路愛護精神の定義と道路利用マナーの向上を啓発しようとするものです。

この永年の取り組みが評価されて河内長野ガスは、2023年11月の河内長野市市民表彰式にて市長表彰を受賞しました。



近隣清掃



●過去3年間の実績

	回数	実施日
2023年度	9	4月14日、5月12日、6月16日、10月20日、11月14日、12月15日、1月26日、2月16日、3月19日
2022年度	9	4月8日、5月10日、6月7日、7月5日、10月7日、12月6日、1月20日、2月17日、3月10日
2021年度	10	4月9日、5月7日、6月8日、7月9日、10月5日、11月2日、12月10日、1月18日、2月8日、3月11日

2 地域貢献への取り組み

河内長野ガスは、地域の将来を担う子供たちの健やかな成長に寄与することや地域団体との連携により地域の発展に貢献することを目的に、長年にわたり地道な活動を行っています。

(1) 次世代育成

① 小学校出前教育プログラム

河内長野ガスは2006年度から河内長野市教育委員会と連携し、河内長野市内の各小学校を対象に地球温暖化問題を中心とした「小学校出前教育プログラム」を、2023年度までに延べ64の小学校に145回の授業を行いました。

●2023年度の実績

- ・千代田小学校6年生
「ガスコンロのしくみ、燃焼のふしぎ」
- ・川上小学校5年生
「考える防災教室」
- ・三田市小学校6年生
「ガスコンロのしくみ、燃焼のふしぎ」



授業の様子

② 職業体験学習

河内長野ガスは、学びの場として、中学生の職業体験学習の受け入れをしています。

●2023年度の実績

- ・東中学校 2年生 (2名)
- ・加賀田中学校 2年生 (2名)



職業体験学習の様子

(2) 地域への寄付

河内長野ガス主催の「ガス展」におけるイベント売上や、社屋内に設置された募金箱に集められた来訪の方や従業員からの募金を原資として、河内長野市に寄付しています。



(3) ショールームの地域貢献活動への取り組み

河内長野ガスショールーム「crassimo (クラッシモ)」では地域への貢献活動として、河内長野市社会福祉協議会様や日本ライトハウス様等の募金箱を設置しています。

また、河内長野市の高齢者公共交通利用促進事業の「まちなかクーポン配布事業」にも協賛し、まちなかクーポンを持参されたお客さまには粗品をプレゼントしています。

他にも乳幼児を連れた保護者が外出中におむつ替えや授乳ができるスペースのある施設「赤ちゃんの駅」として登録されています。

インフォメーションコーナーでは河内長野市自治安全部危機管理課様の自動通話録音装置貸し出しのご案内を掲示し、地域の皆様への情報発信を行っています。



「赤ちゃんの駅」
ロゴマーク

VIII 働きやすい職場づくり

私たちの約束4

私たちは思いやりと切磋琢磨が交差した働き甲斐のある企業をつくりまします。



私たちは、従業員一人ひとりが仕事を効率化して、生産性をあげ、より高い成果を出すため、働きやすい職場環境をつくっていききたいと考えています。

1 やりがいのある職場

(1) 人事制度

① 評価制度

各部署の事業計画・方針に基づいて各自目標シートを作成し、業務を遂行しています。目標達成度合いに応じて評価がなされます。

② 資格取得支援制度

従業員の資格取得や自己啓発を奨励し、従業員のスキルアップを目指しています。業務に関する資格の場合、会社が費用を負担するなどバックアップをおこなっています。また、資格取得は昇格要件にも含まれています。

2 働きやすい環境

(1) 働き方改革

① 有給休暇取得の推進

有給休暇取得の推進は、仕事と生活の調和が実現し、働く意欲の増進に繋がると考えています。業務に支障が出ないよう部署内で調整し、積極的に取得することを促しています。

●有給休暇平均取得日数

2023年度	2022年度	2021年度
10.9日	11.6日	10.4日



(2) 地域の雇用

① 定期的な採用

地域の雇用を支えるため、河内長野ガスは、定期的な採用を計画しています。

現在、2025年度にむけて、採用活動をしています。

河内長野ガスに入社した新卒者の定着率は高く、下表にある8名の方も全員が各部署で活躍しています。

●新卒者採用数

2023年度	2021年度	2019年度
3名	3名	2名



(3) 情報の共有化

① 社内報による情報発信

河内長野ガスでは、2022年10月から全従業員が社内の情報を共有できるように各部署の活動実績や予定、月1回の全社朝礼の際の従業員のスピーチ等を社内報として取りまとめ月1回発信しています。従業員同士をつなぐコミュニケーションツールとしての役割を担い、職場の雰囲気良好にすることに役立っています。従業員が楽しんで読める社内報の作成を心がけています。



社内報

3 安全衛生への取り組み

(1) 安全衛生委員会

月1回開催される安全衛生委員会では、部署の垣根を越えた安全面・衛生面に関する情報共有、従業員の要望・意見をまとめて議論するなど、よりよい職場環境づくりを目指し活動しています。

また、2022年度より、委員会では毎月必ず職場環境や自動車の運転、健康面等に関する危険予知活動を実施しています。委員会後は、委員会のメンバーが活動内容をそれぞれの部署に持ち帰り、情報共有・意見交換することで、事故の未然防止に努めています。



(2) 協力会社合同安全大会

河内長野ガスは1年に1回、安全大会を実施し、各事業部の協力会社（メーカー、商社、工務店、設備業者）に参加いただいております。

安全大会では現場での危険箇所・危険行為・道具の使用方法・工事中の安全行動、現場マナーなどについて研修を行っています。

また、外部講師による個人情報取り扱いやコンプライアンスの講義を行っています。



安全大会の様子

(3) 従業員の健康を配慮した取り組み

従業員の健康に配慮した取り組みとして、全従業員が受診する健康診断では、通常より検査項目を増やし、希望者には自由にオプションを追加できるようにしています。また、インフルエンザの予防接種を希望者に対して実施し、ストレスチェックも行っています。更に毎朝のラジオ体操の励行やクラブ活動への補助、本社建物内は全面禁煙としています。

これらの取り組みが評価されて、2024年3月に河内長野ガスは健康経営優良法人2024（中小規模法人部門）に認定されました。

●ストレスチェックの実施率

年度	ストレスチェック
2023年度	92%
2022年度	97%
2021年度	97%



Ⅳ コンプライアンスの取り組み

私たちの約束5

私たちは法令を遵守し高い倫理観を持って、
社会人として責任ある行動をとります。

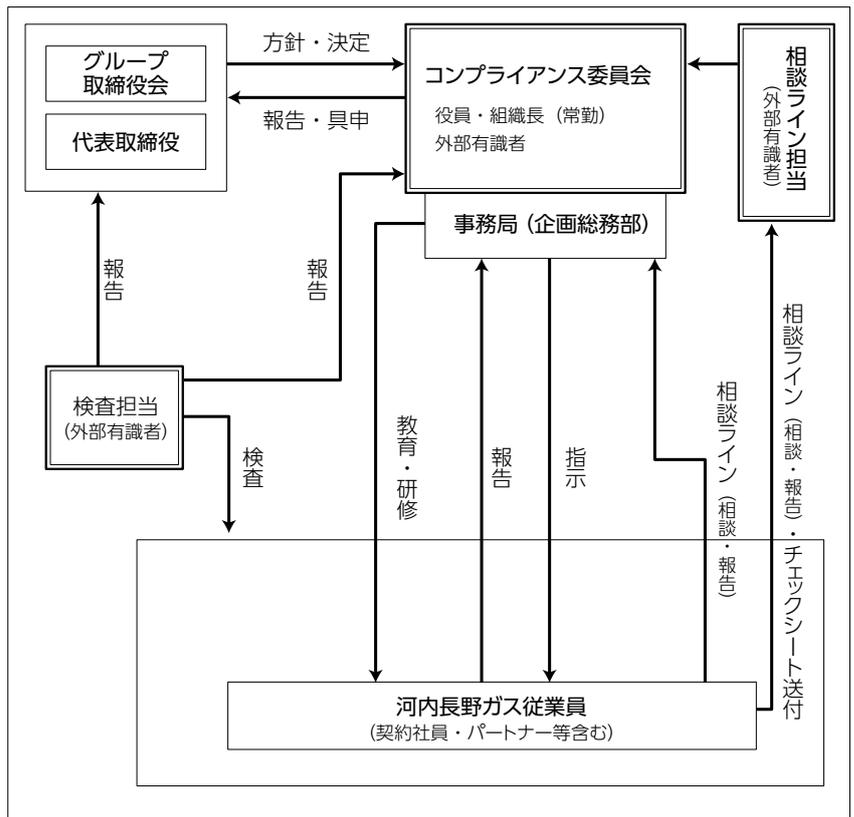


1 法令の遵守と高い倫理観を持った活動

河内長野ガスは、全ての役員および従業員が、コンプライアンスを確実に実施することで、地域の皆さまからの信頼を得る健全な会社を目指しています。また、コンプライアンスを、法令遵守だけでなく、社会の一員としての良識ある行動までを含む企業倫理の観点から捉え、お客さま、取引先さまなど全てのの人々と公正な関係を維持し、信頼をより強固なものとするために努めて参ります。

(1) コンプライアンス委員会

河内長野ガスでは、定期的に、企業法務の専門家である追手門学院大学 経営学部長 水野浩児教授をコンプライアンス担当顧問としてお迎えして、コンプライアンス委員会を開き、グループ全体のコンプライアンスに関する事案の対策検討、情報共有、意見交換を行っています。



河内長野ガス コンプライアンス組織図



(2) コンプライアンスアンケート

全従業員を対象にしたコンプライアンスに関するアンケート調査を定期的実施し、コンプライアンスに関する問題の早期発見に繋げるとともに、全従業員のコンプライアンスへの意識付けをしています。

●回答率

2023年度 98% 2022年度 98% 2021年度 98%

(3) コンプライアンス研修会

定期的コンプライアンス研修会を実施しています。研修会では、その年のタイムリーなテーマを取り上げ、従業員、協力会社の意識付けを徹底しています。

また、全従業員には、いつでもコンプライアンスについて確認できるように、コンプライアンスマニュアルが配布されています。

① 全従業員向け (2024年2月)

コンプライアンス担当者からパソコンに送られてくるフィッシングメール等による個人情報の漏洩に注意喚起や従業員向けのコンプライアンス関係の相談ラインの紹介がありました。



コンプライアンスマニュアル

(4) コンプライアンス相談ライン

河内長野ガスでは、コンプライアンスに関する相談及び報告制度として、水野教授に直接相談できるコンプライアンス相談ラインも設置しています。



(5) 地域の皆さまの期待に応える河内長野ガスとCSR

人口減少社会において地域企業の存在意義はますます大きくなる中、河内長野ガスは地域社会と一体となって活動することを意識し、その活動の一つの形がSDGsを意識した取り組みです。

河内長野ガスの長期ビジョンには「地域のお客さまの笑顔ナンバーワン企業」と「地域のお客さまに最も信頼され、支持される企業」の2つが掲げられています。これは、河内長野に拠点を置き、お客さまの100%が河内長野を拠点にされていることを背景とした、河内長野ガスならではの特色が為せる長期ビジョンであり、地域の発展なくしては河内長野ガスの存在意義はないことを明確にしたものでもあります。

地域と共に持続可能な社会を構築していく発想は、SDGsの考え方そのものであり、これほど地域社会に密着した企業は全国規模で見ても稀有な存在といっても過言ではありません。

今や、誰もが一度は聞いたことがあるSDGsですが、その背景には、地球温暖化などの進行による環境問題を身近に感じるなど、持続可能性を考えることが他人事でなくなったことが背景にあるように思われます。また、SDGsという言葉は、単なる御題目の目標ではなく、やらなくては自分たちの未来にも影響が出てくる、という世界的な本気度、切迫感が出てきたとも言えます。

河内長野ガスにとって、本気で河内長野の発展を願い行動し、地域発展のためにお役に立つことができなければ、存在意義を示すことはできません。

そのような河内長野ガスでは、行動指針を具現化する取り組みの1つとして、2020年度に全社横断組織である「SDGs 部会」を発足させ、地域における様々な活動を重ね、さらには研修会や勉強会などを繰り返すことで、グループ従業員のSDGsに対する意識を高め、地域の皆様のお役に立つことを重要テーマとして取り組んでいます。CSRとは「企業の社会的責任」を意味し、SDGsに関することを含め、「CSR レポート」に河内長野ガスが取り組んでいる地域貢献などの活動をまとめています。

近年では、インフレ進行や歴史的な円安などによる資源の高騰の中、地域の皆様のインフラ事業に対する期待はますます大きくなっていると感じています。そのため、河内長野ガスには、お客さまの「笑顔」と「信頼」を守るため、エネルギーの供給に「+α」の付加価値を感じていただける行動が求められます。河内長野ガスは、地域の皆様と共に歩み、新たな価値創造・価値提供ができる企業になることこそが、真のSDGsであり、CSR（社会的責任）を果たすことです。これからも、河内長野ガスは地域社会になくてはならない存在であり、地域の皆さまに信頼され続けることを願っています。



追手門学院大学 経営学部学部長 水野浩児教授



 Kawachinagano Gas
河内長野ガス株式会社